

宮城県感染症発生動向調査情報(第23週)

宮城県【平成25年06月13日】発行
 宮城県保健環境センター
 TEL (022)257-7228

- 2013.6.3 ~ 6.9 ・ 第23週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	患者数	累計	第20週	第21週	第22週	第23週
水痘	30 6.00	14 1.40	9 1.80	19 9.50	7 2.33	2 0.40	2 1.00	33 1.27	116 2.00	1,845	◎ →	◎ →	◎ →	◎
流行性耳下腺炎		7 0.70	1 0.20	2 1.00	1 0.33	1 0.20	2 1.00	7 0.27	21 0.36	529	→	○ →	○ →	レ
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	23 4.60	56 5.60	15 3.00	23 11.50	6 2.00	32 6.40	13 6.50	224 8.62	392 6.76	10,019	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病		1 0.10				1 0.20		1 0.04	3 0.05	207	→	→	→	
伝染性紅斑	6 1.20	2 0.20				1 0.20	4 2.00	5 0.19	18 0.31	255	→	→	○ →	レ
突発性発しん	3 0.60	10 1.00	8 1.60	1 0.50	3 1.00	5 1.00	1 0.50	19 0.73	50 0.86	808	○ →	○ →	○ →	○
ヘルパンギーナ		3 0.30		1 0.50	13 4.33	3 0.60			20 0.34	62	→	→	→	
インフルエンザ	3 0.38		1 0.13			3 0.38	2 0.50	11 0.26	20 0.22	15,650	◎ →	◎ →	◎ →	レ
咽頭結膜熱	2 0.40	2 0.20	1 0.20	4 2.00		5 1.00		12 0.46	26 0.45	408	→	→	○ →	○
流行性角結膜炎	1 1.00					2 2.00		1 0.17	4 0.33	67	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27 5.40	24 2.40	2 0.40	6 3.00	5 1.67	23 4.60		41 1.58	128 2.21	2,630	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			3 3.00	2 2.00	2 2.00	2 2.00	9 9.00	3 0.60	21 1.75	449	→	→	○ →	レ
クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1 1.00						1 0.08	15	→	→	→	
RSウイルス感染症			1 0.20			2 0.40		5 0.19	8 0.14	244	→	→	→	
拡大疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	4	5	2	1	1	10	1			：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 ：発生が少なくなっている傾向			
川崎病		1									【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/kansen-center/			
不明発疹症														

今週の全数報告疾病

- *男児、女児は6歳未満
- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 結核
 - 仙南管内 男性1名
 - 登米管内 女性1名
 - 気仙沼管内 男性1名(第21週)
 - 仙台管内 男性2名
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌
 - 仙台管内 男性2名
 - 4類感染症: 報告なし
 - 5類感染症: 侵袭性肺炎球菌感染症
 - 仙南管内 男性1名(第14週)、男性1名(第18週)、*女児1名(第19週)
 - 仙台管内 男性1名
 - 梅毒
 - 塩釜管内 女性1名
 - 仙台管内 女性1名
 - 風しん
 - 仙南管内 男性1名(検査診断例)
 - 塩釜管内 男性2名(検査診断例)
 - 栗原管内 男性1名(検査診断例)
 - 仙台管内 男性3名(検査診断例)、女性1名(検査診断例)

今週のインフルエンザによる入院患者報告 (仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

一 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【水痘】

栗原管内で警報値を超えた。
仙南管内で注意報継続中。

【伝染性紅斑】

気仙沼管内で警報継続中。

【風しん】

全国的な傾向と同様に、県内でも20代～40代の男性を中心に流行が継続している。
今週あらたに8例の報告があり、2013年の累積報告数は64例となった。
今後も流行の拡大を防止するためにも、積極的に予防接種を受けてほしい。

【病原体検出情報】

～保健環境センター～

インフルエンザ集団発生事例患者より
仙南管内 第23週採取分 インフルエンザA(H3)型遺伝子 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第21週採取分 (5.20～5.26)	第22週採取分 (5.27～6.2)	第23週採取分 (6.3～6.9)
パラインフルエンザウイルス2型	0件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	1件	3件	0件
RSウイルス	1件	0件	2件
単純ヘルペスウイルス	1件	0件	0件
サイトメガロウイルス	0件	1件	0件

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群											総数 (人)
	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	
2013年 第19週	18.9	24.4	27.6	3.1	3.9	8.7	4.7	2.4	1.6	3.1	1.6	127
第20週	19.8	38.8	17.2	1.7	6.0	5.2	4.3	0.9	2.6	2.6	0.9	116
第21週	13.1	41.1	22.4	6.5	2.8	4.7	1.9	5.6	0.0	0.9	0.9	107
第22週	23.2	43.9	20.7	1.2	0.0	4.9	3.7	2.4	0.0	0.0	0.0	82
第23週	30.0	35.0	10.0	0.0	5.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20

インフルエンザ定点
 インフルエンザ定
 点は、内科定点と
 小児科定点を合
 せたもので、県全
 体で93定点です。
 宮城県:51定点
 仙台市:42定点
 合 計:93定点

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第21週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第18週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では沖縄県(4.64)、富山県(3.81)、宮崎県(3.81)が多い。**RSウイルス感染症**: 報告数は429例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。**咽頭結膜熱**: 報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。佐賀県(2.65)、鹿児島県(1.55)、宮崎県(1.47)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 報告数は減少した。福井県(4.91)、鳥取県(4.47)、新潟県(4.16)が多い。**感染性胃腸炎**: 報告数は減少した。山形県(14.57)、大分県(14.17)、新潟県(13.34)が多い。**水痘**: 報告数は増加した。宮崎県(3.33)、福岡県(2.56)、愛媛県(2.51)が多い。**手足口病**: 報告数は3週連続で増加した。福岡県(3.67)、沖縄県(2.91)、鳥取県(2.43)が多い。**伝染性紅斑**: 報告数は増加した。富山県(1.28)、新潟県(0.52)、岩手県(0.38)が多い。**百日咳**: 報告数は減少した。福井県(0.09)、沖縄県(0.06)、山梨県(0.04)が多い。**ヘルパンギーナ**: 報告数は3週連続で増加した。佐賀県(0.91)、山口県(0.60)、熊本県(0.50)が多い。**流行性耳下腺炎**: 報告数は減少した。秋田県(1.40)、佐賀県(0.78)、岩手県(0.73)、福井県(0.73)が多い。**マイコプラズマ肺炎**: 報告数は2週連続で増加した。福島県(2.71)、青森県(1.83)、佐賀県(1.83)が多い。